

令和4年5月9日 町営斎場建替事業に係る説明会 意見に対する回答

主な質問及び意見	町の考え方
申込期間が連休中というのは良くない	広報配布の時期にあわせて説明会の準備をし、連休中の役場閉庁時も多くの皆様 が申し込みできる機会を念頭に体制を確保してきました。 ご指摘をいただきましたことに対しましては、今後の課題として十分念頭に置いて、 周知期間も確保してまいります。
都市公園予定地が候補地になった理由が抜けている	二つの候補地について、旧栄小学校はアクセスが遠かったり、道路のすぐそばにあ って施設が直接道路から見える敷地形態にあります。 一方で、都市公園予定地は、国道から通路を通るので周辺との環境に配慮という ことでは、地域の特徴を活かしながら柔軟な対応が可能との視点があります。 さらに、将来的な広域化ということも鑑み、総合的な見地から第一候補地として 判断したものです。 地域の方々のご理解をいただくという部分では、しっかりと丁寧な説明が必要と いう論点がありますので、町がその責務を果たしながら、斎場のあるべき姿を地域 と共有していきたいと考えます。
事後の承諾説明会か、再検討する審議のための会なのか ははっきり見えない	都市公園予定地を第一候補地として方向付けをした説明をさせていただいてま す。そうした経過を説明し、今後調査をしながら建設可能かどうかも含めた準備に ついてのお話しもさせていただいています。 一方で、町民の方からさまざまなご意見等があるのが現状です。こうした説明会 を通じてどういった懸念があるのか、どういった対応が出来るのかお返しをしなが ら、引き続きお話しをさせていただきたいと考えます。
町のど真ん中につくのであれば観光政策上非常によくない	候補地付近から余市川を介してまちのシンボリックなロケーションを望むことがで きるエリアです。 自然環境に配慮した周辺の方々との暮らしに調和しながら、町を訪れるの方々にも 思いが伝わる、そういったイメージを大切にしたいと考えてます。
余市川付近に建つのはイメージ的に良くない。この問題は 白紙に戻してほしい	大切な方との最後のお別れの間として出来るだけ静寂で景観の良い場づくりが大 切と認識しています。 余市川や桜づつみなど都市の貴重な環境資源を極力生かしながら地域に住まれる 方々に丁寧な説明をしてまいります。 また、ゼロベースとなると時間軸が長くなる側面があります。 まずは、都市公園予定地を第一候補地として、町もさまざまな勉強をさせていただ くための対話をしてまいりたいと考えます。

令和4年5月9日 町営斎場建替事業に係る説明会 意見に対する回答

主な質問及び意見	町の考え方
雪捨て場はどこかに移そうとしているのか	排雪作業時の雪捨て場として、雪対策に欠かせない施設の一つです。一方で、国道や道道の堆雪場所もあって夜間作業もあります。関係機関とも地域の状況を共有しながら連携を図ってまいりたいと考えます。
今の技術であれば、梅川でも可能ではないか	法面を整えたことで法足が伸びてスペースが狭くなり、約3,000㎡必要とされる中で概ね半分弱になったところです。斎場では、建物の他に駐車場、また会葬バスの車寄せをして乗降するバスルートも考慮すると、とても厳しい敷地になります。適地選定時においても、こうした背景があつての取り組みとされています。
早期にとりかかってほしい	斎場として町民の皆様にとりまして大切な施設であるにもかかわらず、いまだにご不便をおかけしております。また、現状の施設も48年ほどが経過し、設備や炉自体も含めた老朽化対策が喫緊の課題となっております。町としてもこうした課題解決に向け全力で取り組んで参ります。
迷惑施設というイメージ。そういった先入観を払拭すべき	大切な方を最後に送り出す施設として、最大限の敬意をもってきちんと未来に送り届けることを念頭にしながら、近代化といわれる煙や臭いが出ない、到底火葬を感じさせないものになっているのが現状です。かつての負のイメージから脱却し、周辺環境に配慮したイメージ的なものを皆様と共有していく視点を持ちながら、引き続き町民への丁寧な説明をしてまいります。